

一般社団法人

部分隔離協会のご案内

Partial Isolation Society

<http://bubunkakuri.com/>

将来の疾病リスクゼロへ

部分隔離協会はその防止に

取り組んでいます

協会のご案内

協会設立の趣旨

部分的あるいは局所的に汚染域を隔離して洗浄・除去する事で従来にない優れた機能により様々な場所で活躍しているのが部分隔離工法です。扱われる環境から同時に疾病問題という重い責任を背負ってこの世に誕生しました。

従来の全体隔離による作業環境では従事者は、汚染した高濃度域で活動する事から、ばく露、被爆熱中症と闘う事になります。それらと比較して明確な抑制効果が期待できる部分隔離ですが残念ながら工法の普及なくして従事者の環境改善は期待できません、そんな中、従事者(工事会社)・発注者・メーカーの三者が協力する事で部分隔離協会が誕生いたしました。

専門工事会社は若い労働者の将来疾病を案じて、発注者は将来の疾病リスク対策を講じメーカーは被爆や汚染抑制に関するノウハウ等を十分に提供する事により過酷な仕事に従事する方々の”**将来の疾病リスクゼロへの取り組み**”を部分隔離協会を通じて支援したいと考えました。

現在、国内海外における部分隔離製品の供給企業は日本と米国のみと認知度も低い事から発展途上の、この製品の正しい理解と性能を十分発揮できる従事者の育成が普及への第一歩と考え東西に研修センターを設けました。部分隔離は経済効率の優れた工法ですが、これからの社会は環境と安全にも優秀であることが普遍的な流れとなっており、部分隔離と協会は時宜にかなった取り組みを展開することで、社会に貢献していきたいと考えます。厚い信頼にお答えするためにも、より一層業務に精励致しく存じます。

どうか今後とも、変わらぬ御愛顧のほど、お願い申し上げます。

敬具

平成23年6月1日
一般社団法人 部分隔離協会

代表理事 太田 雅久

目的

第3条 当法人は、有害物質等の代替、除去、洗浄などの危険を伴う作業の従事者が汚染域に入る事のない環境下で作業することにより従事者のばく露及び被爆等の健康障害を防止するために有効な局所的な隔離方法である部分隔離の普及を図ることで、従事者の安全衛生、生産性向上、環境配慮に資し、これをもって社会に貢献することを目的とする。

事業

第4条 当法人は、前条の目的を達成するために次の事業をおこなう。

- 1) 有害物質等の代替、除去、洗浄などの危険作業を伴う従事者の安全衛生に係わる実態調査と情報収集及びその提供
- 2) 部分隔離の適切な取り扱いに関する指導及び教育機関の設置
- 3) 部分隔離の利用促進に於ける標準化及び普及活動への取り組み
- 4) 安全衛生面で優れた、水性無機質系の封じ込め及び飛散防止剤の普及
- 5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

部分隔離とは

◇ 時代のニーズ...

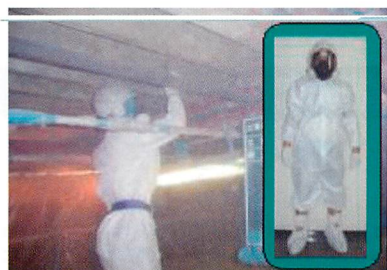
アスベストショックから三年目を経て沈静化の兆しが見られるアスベスト問題であるが、工場労働者、建設作業員など濃度の高い、ばく露から濃度の低い、広く浅く拡散するばく露問題へと社会情勢が変化してきています。これは空調機械室や昇降設備「エレベーター」など技術的に除去工事が難しい場所が放置され細切れに短時間で、ばく露がマスク等でクローズアップされてきたからです。この低濃度ばく露問題は上記の施工技術上の問題よりも空調や電気、昇降設備など日常の営みを継続しながら除去する方法、工法がない事が問題であった。事業主における悩みは工事での営みをとめてしまう事にあり、事業を継続しながら対策を講じる工法が望まれています。

◇ 安全衛生上の問題...

また、従来工法「部屋全体を隔離しての除去工事」では作業員が濃度の高い汚染域に入ることによる石綿ばく露による疾病リスクが高くなるという安全衛生上の問題があります。部分隔離工法は疾病リスクを著しく低減した製品となっています。

◇ コストと周辺不安の解消...

この工法は汚染域に入らない事で洗浄設備が不要とされ、これによりセキュリティゾーンやフルフェイス式防塵マスク及び防護服が不要となります。消耗品コストの低減のみならず周辺環境によっては屋外やオープン空間での工事となる事から、工事関係者以外の視覚的な不安を解消する事に一役かっています。



在来工法



部分隔離

作業衣を着ず作業可能なので作業員を全体隔離より煩わしくない

PIS 認定の部分隔離「グローブバッグ」製品

OGAWATEC 部分隔離工法 **ふうじろう**
http://www.ogawatec.co.jp

レベル1対応品

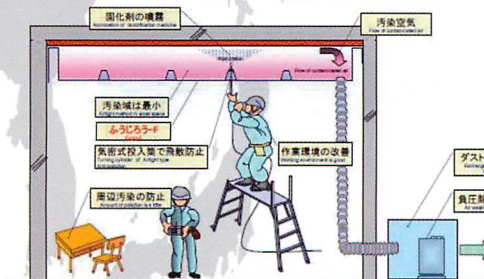
AVAIL QuickTwist Glovebag System
Maintenance Glovebag

グローブバッグ

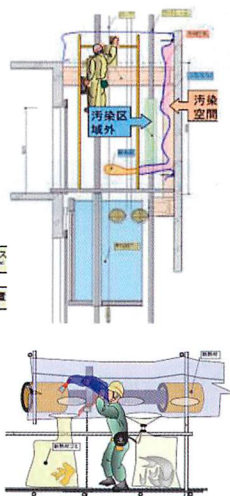
レベル2対応品

封じ込め作業も隔離することになりました。

- 汚染空間を最小にして養生負担を大幅に軽減。 Aslight method in small space Workload is less
- 周辺機器や家具などの汚染発生が不要になります。 Amount of pollution is little
- 人は汚染域の外からの作業でアスベストばく露を防ぎます。 Working environment is good



ふうじろう工法 BCJ-163

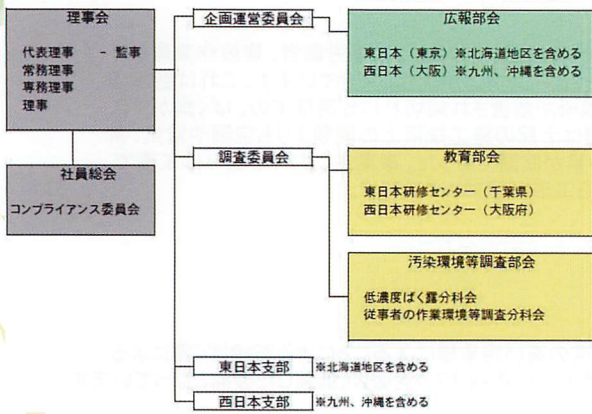


PIS「部分隔離協会」は EPA(米国)及び BCJ(日本) 或いは NETIS 等の公的機関の認証を受けた部分隔離(英名:グローブバッグ)工法製品を PIS 認定品としており、平成 21 年度以下の製品が PIS 認定を取得しております。
※認定基準: 従事者の作業場所である作業区域の空気 1^{1/2} 中の繊維状粒子(アスベスト繊維を含む)の本数をおよそ 10 本以下とする事により作業区域の汚染がない事の証明



組織図・会員名

部分隔離協会組織図



会員名 (順不同)

ITU-Com株式会社
 株式会社環境エンジニアリング・リサーチ
 K Iトレーディング
 株式会社ミライト・テクノロジーズ
 アイレック技建株式会社
 井上定株式会社
 エヌ・ティ・ティジーピー・エコ株式会社
 オカモト化成品株式会社
 株式会社小川テック
 株式会社サイバーエンタープライズ
 大東電業株式会社
 明協エンジニアリング株式会社
 株式会社ダイナムテクニカ
 株式会社寺岡
 株式会社ディアテック
 株式会社トッププランニングJAPAN
 常盤工業株式会社
 東北緑化環境保全株式会社
 株式会社広貴工業
 株式会社ミヤデラ断熱
 株式会社ヨシケン

お問い合わせ窓口の開設

官庁、自治体、業界関係者、ゼネコン、一般ユーザー様からの工法及び施工に関する、お問い合わせは事務局、広報委員会での対応となりました。ご相談内容に応じた販売店、施工会社等のご案内も致しておりますので、ご遠慮なくご相談下さい。

事務局 広報委員会
 TEL 03-6716-0840
 FAX 03-6716-0899

講習会・調査研究

部分隔離工法技能講習とは

本技能講習は部分隔離工法に用いる専用の隔離材『ふうじろう※1,Availグローブバッグ※2』の正しい取り扱いを学び製品性能を十分発揮していただく講習となります。部分隔離は作業域よりグローブによる除去、洗浄、汚染物の密閉搬出等を、おこなう特異な技術を必要とする事から専門家による技能講習を当協会が実施しています。講習を終了した者が必ず現場作業責任者あるいは石綿作業主任者として指導監督にあたり事故防止を図る事が目的です。監督官庁への許認可等書類には修了証の写しが必要となります。講習では災害防止のポイント及びエレベーターシャフト内での実技事項も追加しています。

※1 ふうじろう 株式会社小川テックの商標です。
 ※2 Availグローブバッグ グレイリング社の商標です



学科講習



実技講習

◇東日本研修センターのご案内「中部、関東、東北、北海道」
 委託会員企業：常盤工業(株)
 建設事業部 麦田 TEL 03-3262-9185
 〒277-0941 千葉県柏市高柳671 (柏機材センター)

◇西日本研修センターのご案内
 「関西、中国、四国、九州、沖縄」
 委託会員企業：井上定(株)
 環境推進部 TEL 06-6723-8230

入会案内

会員メリット

1. 会員は、当協会の技能講習会・セミナー等に参加できます。
 2. 会員は、当協会による独自調査報告書を購読できます。
 3. 支部活動・友好関連団体を通して最新の営業ネットワークが広がります。
 4. 当協会は信頼の高い団体、協会の会員としてお客様の信頼と安心を得ます。
 5. 部分隔離工法に於ける施工企業の協会認定が得られます。
- 会員の皆様には業界のお役立ち情報や当協会からのお知らせなどを掲載した「新芽」を年2回(4月,11月)配布しています。

入会方法

本会への入会は以下の要領でお申し込みください。
 入会は随時受付しておりますが理事会の承認を経る必要があり時間がかかる場合があります。
 入会申込書の提出、入会金および会費のお支払いがないと入会の手続きは完了しません。
 ご不明な点があれば、事務局までご連絡下さい。
 ※入会には、正会員1名の紹介が必要です。(定款第7条) 入会申込の「紹介者名欄」には、必ず正会員の氏名をご記入ください。

事務局

〒140-0004 東京都品川区南品川JNEビル4F
 一般社団法人 部分隔離協会
<http://bubunkakuri.com/>
 TEL 03-6716-0840
 FAX 03-6716-0899
 mail@bubunkakuri.com